



機能性特殊フィラー アムテトラ

アムテトラは、高純度の亜鉛粒を原材料として、特殊雰囲気中で酸化熱処理を行うという画期的な製法から生まれた、酸化亜鉛の針状単結晶です。

アムテトラは単結晶構造が持つ優れた特性に加え、その最大の特徴である三次元形状（テトラポッド形状）によって、他の材料にはみられない様々な複合効果が発現されるため、機能性特殊フィラーとして使われています。

テトラポッド形状の 単結晶酸化亜鉛

- | | |
|------------|-------|
| 耐摩耗性・摺動性 | 電波吸収性 |
| 異方性緩和・寸法精度 | 超撥水性 |
| 表面平滑性 | 制動性 |
| 金型腐食防止 | |
| 熱伝導性 | |
| 半導電性 | |

アムテトラの諸性質

物質名	酸化亜鉛
化学式	ZnO
形状	テトラポッド状
平均繊維長（針状部分）	約10μm、約20μm
真比重	5.78
かさ比重	約0.1
昇華点	1720°C
熱伝導率	25.3 W/m·K
熱膨張係数	$3.18 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$
誘電率（ $2.4 \times 10^{10}\text{Hz}$ ）	$\epsilon = 8.5$
体積固有抵抗	約 $10\Omega\cdot\text{cm}$



アムテトラのグレード

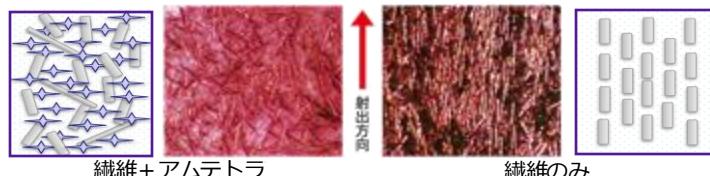
グレード	平均繊維長 (針状部分)	表面処理	推奨マトリックス（採用実績）
WZ-0501	10 μm	表面処理なし	PTFE, ゴム, 濾紙
WZ-0501L	20 μm		
WZ-0511	10 μm	アミノシランカップリング剤	PP, PE, PS, ABS, PMMA, PA, PPS, PES, LCP, PEEK, 工ポキシ, フェノール, ウレタン, 塗料
WZ-0511L	20 μm		
WZ0531	10 μm	エポキシシランカップリング剤	POM, PET, PBT, LCP
WZ-05E1	10 μm	シリコンオイル	PC
WZ-05B1	10 μm	チタネート系カップリング剤	塗料（工ポキシ）, POM
WZ-05F1	10 μm	アミノシランカップリング剤 分散性改良品	PEフィルム, LCP

アムテトラの用途事例

事例① 繊維強化樹脂への添加

炭素繊維やガラス繊維と併用することにより、以下のような効果が期待できます。

- 繊維配向を乱すことによる異方性の緩和
- ソリの低減
- 表面平滑性の改善



アムテトラ (wt.%)	ガラス繊維 (wt.%)	収縮比 (TD/MD)	平板ソリ (%)
0	30	5.5	35
10	30	4.2	23
20	30	3.8	18
30	30	2.5	15

表1) PBT/ガラス繊維コンパウンドの収縮比およびソリ比較

事例② 金型腐食の抑制効果

PPS樹脂に添加することにより、PPSから発生する腐食性ガスによる金型腐食を抑制する効果が確認されています。

PPS (重量部)	アムテトラ (重量部)	ガラス繊維 (wt.%)	腐食性	引張強度 (MPa)
100	0.5	0	小さい	90
100	0.5	40	小さい	190
100	0	0	大きい	89
100	0	40	大きい	190

表2) PPS樹脂のSKD試験片への腐食性比較

事例③ 制動性の付与

ゴムに添加することにより制動性を付与することができます。

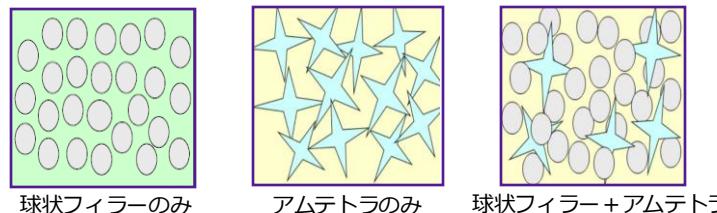
スタッドレスタイヤやシユーソール用途における滑り防止効果が高く評価されています。

	動摩擦係数 (床材:ステンレススチール)		
	Dry	Wet	サラダ油
アムテトラあり	0.68	0.52	0.17
アムテトラなし	0.48	0.44	0.12
効果	約40%向上	約20%向上	約40%向上

表3) フットサルシューズ(アウトソールラバー)の動摩擦係数比較

事例④ 热伝導性・半導電性の付与

他の導電フィラーや熱伝導フィラーと組み合わせることにより、アムテトラが橋渡し役となり、導電性や熱伝導性を効果的に高めることができます。



アムテトラ (vol%)	窒化ホウ素 (vol%)	熱伝導率 (W/m·K)
10	35	2.7
15	30	3.2
20	25	3.5

表4) PPSコンパウンドの熱伝導率比較 (レーザーフラッシュ法)

アムテトラ (vol%)	アルミナ (vol%)	熱伝導率 (W/m·K)
0	0	0.3
0	50	3.0
50	0	4.0

表5) PAコンパウンドの熱伝導率比較 (非定常法:QMT-500)

事例⑤ 耐摩耗性・摺動性の向上

アムテトラ構造のミクロ補強効果により、耐摩耗性を向上させる効果が確認されています。特に他の繊維と併用する場合において効果が顕著です。

相手材への摩耗を低減させたり、摩擦係数を小さくすることも期待できます。

処方	PPS / CF10% アムテトラ40%	PPS / CF10% アムテトラなし
樹脂比摩耗量 (mm ³ /kmkg)	0.2	1.19

速度: 0.3m/sec、面圧: 10kg/cm²、時間: 1h、相手材: S45C

表6) PPSコンパウンド(炭素繊維10%)の比摩耗量比較

処方	LCP / GF30% アムテトラ15%	LCP / GF30% アムテトラなし
樹脂摩耗量 (mg)	0.5	136

速度: 300m/min、面圧: 20kg/cm²、時間: 1h、相手材: S55C

表7) LCPコンパウンド(ガラス繊維30%)の摩耗量比較

本資料に記載されている情報は信頼できるデータに基づく代表的な性質の紹介であり、当社及びメーカーが次の事項について保証するものではありません。

(1) 本製品から得られる最終製品の性能 (2) 本製品およびその情報・推奨事項に関する責任や安全性
メーカー、当社およびその代理店は、本製品を使用したことによる結果・損失に関するいかなる責任も負いません。本製品およびその情報・推奨事項に関する責任や適正については、お客様ご自身で必要な評価・分析を行っていただき、ご判断くださいます。

本資料に記載されている以外の技術情報、顧客での推奨事項などにつきましても、メーカー、当社およびその代理店は、同様にいかなる責任も負いません。

